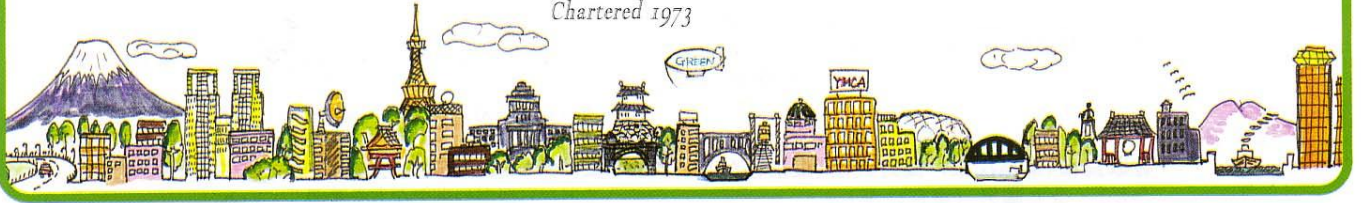




# 東京グリーン

Chartered 1973

〒135-0016  
東京都江東区東陽 2-2-20  
東京 YMCA 東陽町センター内



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2025.4 > BULLETIN 2024年7月~2025年6月

会長 樋口 順英  
副会長 青木 方枝  
書記 村杉 一榮  
会計 小仁 恵子  
監査 柿沼 敬喜  
担当主事 柳原みづき

国際会長 A・シャナヴァスカーン 「より良い世界のために、共に」  
アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウォン 「大きなインパクトを起こそう」  
東日本区理事 山田 公平 「ワイズの方向性を見極める」  
関東東部部長 山本 剛史郎 「我々は微力かもしれないが、無力ではない！」  
クラブ会長 樋口 順英 「元気で楽しいのが一番！」

**4月度 イースター**  
つまり私は、メシアが苦しみを受け、また、死者の中から最初に復活して、民にも異邦人にも光を語り告げることになると述べたのです。(使徒言行録 26 章 23 節)  
\* 十字架に付けられたイエスは、復活して弟子のもとに現れた。そしてユダヤ人、他のすべての民へも福音を伝えるようにと語られた。

2025年4月 3クラブ合同例会

日時: 2025年4月17日(木) 19:00 ~ 21:00  
場所: 東京YMCA東陽町センター  
司会: 小松重雄(江東) グリーン受付: 柿沼、佐野  
開会点鐘 ひがし 鮎澤 正和 会長  
ワイズソング・ワイズの信条 全員  
会長挨拶 江東 相川 達男 会長  
ゲスト、ビジター紹介; 江東 相川 達男 会長  
聖句・お祈り・食事 江東 井口 真(江東) 会長  
江東クラブ 入会式 入会者 佐藤アドリエンさん  
小松 康広 さん  
司会 江東 相川 達男 会長  
卓話 東京YMCA新総主事、星野 太郎 様  
~テーマ(仮)「これからのYMCAとワイズメンズクラブ」  
ハッピーバースデー 今回はなし  
閉会点鐘 東京グリーン 樋口 順英 会長  
★お弁当注文の都合上、ご出席者は4月10日までに青木(江東)宛

春に思う 村杉一榮

わたしは浅草と上野の真ん中にずーと暮らしています。  
足腰が弱り一人で暮らせなくならないようにと、毎日ウォーキングを続けています。今は上野の山に行く決ったコースを早足で小一時間8000歩位です。  
桜が咲き始め山は賑わっています。以前は大勢で円座になりあちこちでカラオケまで持ちこんでの大宴会が当たり前で、その季節は敬遠して行きませんでした。コロナ以降その姿はすっかり変わり、広い通路は二つに分けられ一方通行になり、噴水前の広場には桜フェスタが開かれ、たくさんのテントが立ち並び、その数100以上、いろいろな食べ物があり、人々はテーブルを囲み、立って飲み食べてます。今出会うのは半分近くが外国の方で桜をみんながめでています。

世界中で起きている状況を思うと、日本の平和は有難い。ずーと続きますようにと思うこの頃です。

【例会出席率】 在籍:16名 3月出席率10/13 77%  
出席:3月 (メン10名、メネット0名) 計10名  
【ニコニコ】 ¥13,000



## ◆2025年3月例会報告

日時：2025年3月19日(水) 18:00~20:30

場所：東京YMCA東陽町センター

出席者：青木、柿沼、小仁、佐野、西澤、西本夫妻、村杉、樋口、柳原、各々

ビジター：青木一芳清子夫妻(千葉)、篠原文恵(西)、小原史奈子(たんぽぽ)各々



### ▲ 概要

- 卓話者に千葉クラブ会長青木清子メンをお迎えし、出席者多く今年初めて盛況な会になりました。
- 卓話は、前半は卓話者の幼い頃の壮絶なご体験、後半は一芳メンとの連携よろしく、千羽鶴やプロジェクトを使い、昨年のオスロでのノーベル平和賞応援ツアーの様子を語っていただきました。

### ▲ 卓話

卓話者：青木清子メン(千葉クラブ会長)

卓題：「ノーベル平和賞応援ツアーに参加して」



(写真：青木清子メン入魂の卓話)

- B29 で爆弾が落とされとき私は4歳でした。8月6日一発の原爆で広島は焼け野が原になり、私は郊外に住んでいたのがガラス窓が壊れたりしたが被害はなかったです。
- すこし時間が経つと焼けた人がゾロゾロと郊外へ避難してきました。母は炊き出し、私はお盆にのせたおにぎりをその人たちに渡す役割を

しました。それが忘れられない記憶です。

直接被爆したいところが一緒だったので私も被爆者(入市被爆者)となりました。

- 原爆は放射能を含んでいます。私より1学年下だった貞子さんという人は、5年になった頃白血病を発症し、入院をしているとき、折鶴を千羽折ると病気が治ると言われ、彼女は病室で折り続けましたが亡くなりました。
- いま世界には核兵器は1万何千発もあると言われています。私は生き残りですが、いろいろ夢を



持っていた人の為にも原爆はいけない、戦争をしてはいけないとつたえなくてはと思っています。

日本は憲法に守られて戦争をしない国となりました。しかし原爆の被害に遭った人たちは何の保障もなく静かに隠れるように暮らしてきたのです。

- 被団協というのができて、今般ノーベル賞平和賞を受賞することになり、その応援ツアー出かけることになり付添いで一芳さんも同行しました。53名の団体で、ドーハで乗換え、ウクライナ上空は飛ばず迂回してやっとオスロに着き、3日間滞在しました。
- 折鶴を国会議員に配りました。授賞式会場の前で本日の卓話のような証言を4分ほどしました。他にもいろいろな所で集会を開き、証言をしました。
- オスロの市長だった人が言ったことは、政治ではなく人々が声をあげていくことが大切です。
- 授賞式は図書館のパブリックビューイングで見ました。被団協の役割を良く理解した方が授賞の説明をしてくださいました。
- 代表団と応援団と一緒に記念撮影しました。寒い中シュプレヒコールをしながらたいまつ行進しましたが、晩餐会に出席した代表団3名がバルコニーから迎えてくれました。
- フリー時間では、劇場、美術館、ムンクの絵画等オスロの街を満喫してきました。

(村杉 記)

### ▲ニコニコひとこと:

- ◆ **西澤紘一**メン:YMCAのYMを「青少年」と和訳した人がいた。すばらしい名訳だ。
- ◆ **佐野守**メン:デフリンピックが日本で初めて開催される。役員もしている。とにかく体が第一で頑張る。
- ◆ **西本東司**メン:久しぶりに出席できた。会社をM&Aしたが、社員のためにも頑張っている。今後ボランティアにも関心を持っていきたい。
- ◆ **西本晃子**メン:77歳になったので友人とお祝いをした。金を買ったら値上がりしたので楽しい。
- ◆ **柿沼敬喜**メン:女性全員にホワイトデーのプレゼントをした。来年への下心ミエエ。
- ◆ **篠原文恵**メン:本日は景気の良い話を伺い、お菓子や美味しいお漬物などもいただき、良いときに来た!
- ◆ **小原史奈子**メン:とても、楽しく、美味しく、学びの時間を頂きました。感謝です。
- ◆ **青木一芳**メン:千葉クは大阪南海クとDBCを結んだが解散し、次の高槻クも解散した。次回東日本区大会では、大阪土佐堀クと締結したい。
- ◆ **樋口順英**メン:神田川船の会、皇居東御苑ウォーク(関東東部EMC企画)のPR
- ◆ **青木方枝**メン:金の話なのだが、チラシがはいったので「お○○や」に金貨を売りに行った。まあまあ。
- ◆ **村杉一榮**メン:運転免許更新の通知が来て、6月のお誕生日まで上手く認知症テストをクリアできますか、お楽しみに!
- ◆ **小仁恵子**メン:带状疱疹の予防注射を受けてきた。  
(村杉 記)

### ▲ハッピーバースデー:

小原史奈子(たんぽぽ)メン (小仁 記)

### ◆2025年3月第二例会(役員会)報告

日時:2025年3月12日(水) 15:00~16:30 Zoom

出席者:青木、小仁、西澤、目黒、柳原、樋口各メン

#### ▲主な決定事項(3月19日例会配布資料より抜粋)

- ① 4月 5日(土)関東東部 EMC 企画江戸城ウォーク  
集合10:00 東京駅丸の内北口(3/30締切)
- ② 4月17日(木)4月合同例会卓話:星野太郎氏
- ③ 5月10日(土)第91回神田川船の会(目黒)
  - 4/30(水)14:00~神田川直前例会(和泉橋)
  - ちらしの郵送→Eメールに改善で500通→350通に削減した。4/15締切にむけ営業活動を
  - **W4W**:「神田川船の会」終了後三浦屋周辺のゴミ拾い(参加自由)→ビニール袋、トンゲ東京YMCAで用意する。
- ④ 5月21日(水)5月例会卓話:仲山淳子氏
- ⑤ 6月7日(土) 第28回東日本区大会(宇都宮)  
★申し込み締切り:5月15日
- ⑥ 8月1日~3日第31回アジア太平洋地域大会  
★申し込み締切りは7月11日 (樋口 記)

### ◆次期会長・部役員研修会に参加してきました。

会計 小仁恵子

- 3月8~9日、2024-2025 年度次期会長・部役員研修会が開催されました。今回は初めて東山荘へ行ってきました。



- 御殿場到着後から大粒のあられが降り始め、夜にはすっかり雪景色になっていました。
- 東日本区次期理事は十勝クラブ 山下真会長主題は「ワイズらしさの再発見」  
今ある問題・課題を整理した上で、「今は変化の時、行動の時」と
- 現山田理事のユースエンパワーメントを奉仕と活動のシンボルと位置づけ、継続して取り組みつつ「ワイズらしさ=楽しさ」を全面に押しだし、2年間の任期で7月からスタート!します。
- 参加して感じたことは、会員増強はとても大事なことです。会員減少をとめるためにも部や区の垣根を越えた交流や協働を継続していくことも大切にしていきたいと思いました。
- グループディスカッションを中心に行なわれたことで、沢山の方々の意見を伺うことができ貴重な時間を過ごすことができました。

### ◆5月例会卓話の予告

「外国ルーツの子どもたちの今とこれからのために」

卓話者 東京 YMCA にほんご学院

日本語教師養成講座講師 仲山 淳子 氏

日時:2025年5月21日(水)18:00~20:30

場所:東京 YMCA 東陽町センター

#### ■講師 プロフィール

● 氏は日本語教師歴30年のフリーランス日本語教師、非常勤講師として長きにわたり留学生への日本語指導や日本語教師養成講座に携わったのち、フリーランスに転身。現在は企業研修やプライベートでの日本語指導だけでなく、日本語ボランティア教師養成講座の講師、e-ラーニング教材の開発等、多方面で活躍中です。(柳原 記)

### ◆2025年4月第二例会(役員会)予告

日時:2025年4月9日(水) 15:00~17:00 Zoom

主な議題:1) 4月、3クラブ合同例会その他

2) 「神田川船の会」運営関係 (樋口 記)

## フリテン書棚

「藍を繋ぐ海」 伊与原 新 著  
(2025年度 172回直木賞)



直木賞受賞作

祝 科学が、わたしたちをあたかく包み込んでくれる。

5つの短編を繋いだオムニバス構成となっている。この種の著作が直木賞の対象となることは珍しい。取り上げられたテーマは、陶器用の赤土、絶滅種のニホンオオカミ、長崎原爆の被災会堂の壁材、火星として飛び込んできた隕石、アオウミガメの生態、5つのテーマを通して主人公の心の動き、出会い、葛藤、悲しみ、そして喜びを愛情に満ちた眼で追っている。

独立した小品であるにもかかわらず、読んだ後の爽快感、満足感は半端でない。さらに著者の出身が神戸大学理学部という事で科学的な描写が精緻である。さら豊富な引用文献が記載されており、専門性に興味ある読者へのサービスも用意されている。読者にとって新しい知識が都度提供される楽しみもある。

5つの話は、それぞれ独立しているようであるが、底辺に流れる自然愛、人間愛に溢れており全体を通じて読み終えると爽快感と満足感が味わえる。

この小品集のタイトルとなっている「藍を繋ぐ海」は第5話で取り上げられたもので、アオウミガメの産卵とふ化と愛情深く育てた少女との感動物語である。主人公沙月は、砂浜でアオウミガメの産卵巣を見つけ、数個の卵を持ち帰り、自分の家で密かに育て始めた。そこは徳島県にある姫ヶ浦海岸近くで、アオウミガメのふ化は観光資源として町役場が保護していた。

監視員であった佐和は、沙月の心根を理解してその場は見逃した。やがて子カメがふ化して、海に返してやる日が近づいた。佐和は若い時、海岸で見つけた瀕死のウミガメを家で引き取り元気になるまで世話をしたことがある。元気になって海に返す時、取り付けたタグを手にしたカナダ人ティムさんと出会う。彼もそのタグの情報をもとにその原点を探していた。

やがて沙月が育てた卵がふ化し子カメが出て来たとの連絡があった。砂浜を海に向かって必死に歩く子カメの様子を沙月らは黙っていつまでも見つめていた。(西澤 記)

## YMCA コーナー

1. 2月26日、いじめのない世界をめざす「YMCAピンクシャツデー」が全国のYMCAで実施された。

東京YMCAでも、各学校、保育園、児童館、学童クラブをはじめ各拠点で、子どもたちや教職員がいじめ反対をアピールするピンクのシャツを着用した他、いじめについて考える様々な取り組みを行い、その様子をHPで紹介した。

東京YMCAの取組に賛同した香港YMCAからも、ピンクシャツデーのプログラムに参加する子どもたちの写真とレポートが届いた。

2. 11月に雨天で延期した国際協力一斉街頭募金を、3月22日、新宿駅周辺で実施した。

会員、ユースボランティア、学生、メンバー、職員などが街頭に立ち、バングラデシュの子どもたちへの支援を呼びかけ、124,971円が寄せられた。

3. 外国にルーツのある子どもたちを支援する東京YMCAの取組が2月27日の朝日新聞デジタル版、及び3月19日の朝日新聞朝刊紙面で紹介された。

なお、外国にルーツのある子どもたちの支援活動(山中湖サマーキャンプ、にほんごサポートプログラム等)のためのクラウドファンディングは、250万円を目標に4月18日まで実施している。

4. 全国のYMCAでは新年度、下記の通り総主事が交替する。

・茨城YMCA 宮田康男総主事退任  
伊藤信彦総主事就任

・神戸YMCA 井上真二総主事退任  
小澤昌甲総主事就任

・熊本YMCA 光永尚生総主事退任  
伊藤眞太郎総主事就任

・福岡YMCA 鷹箸久泰総主事代行退任  
中村賢次郎総主事就任

5. 主な行事(予定)

1) 「総主事就退任式」3月29日 会場:霊南坂教会  
・司式:古賀博牧師(評議員会会長/早稲田教会)  
・奏楽:飯靖子氏(理事/霊南坂教会オルガニスト)

2) 「第34回チャリティーゴルフ大会」4月10日  
PGM総成ゴルフクラブ

3) 「第22回会員大会」5月24日 山手センター

(クラブ担当主事:柳原 記)